

市政モニター まちづくり提言書作成マニュアル



みとの魅力発信課 市民相談室

目次

I. 序章

- 【1】はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ページ
- 【2】公共政策立案に関する良くある落とし穴について・・・・・・・・ 1 ページ
- 【3】予行演習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 ページ

II. 提言様式の作成

- 【1】提言様式について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 ページ
- 【2】提言様式の記入の流れについて（概要）・・・・・・・・ 9 ページ
- 【3】提言様式の各項目への記入について・・・・・・・・ 10 ページ
 - ・項目ア：「テーマに対して、私がつくりたい水戸市」・・・・・・・・ 10 ページ
 - ・項目イ：「項目アの内容」・・・・・・・・・・・・・・・・ 10 ページ
 - ・項目ウ：「項目イの中で、今回の提言でつくりたい水戸市の魅力」・・・・ 12 ページ
 - ・項目エ：「項目ウを実現させるために解決・改善すべき課題」・・・・ 13 ページ
 - ・項目オ：「取組」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18 ページ
 - ・備考欄について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19 ページ
- 【4】提言様式の各項目の関連について・・・・・・・・ 21 ページ
- 【5】提言様式の記入例・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22 ページ

III. まちづくり提言書の作成

- 【1】まちづくり提言書について・・・・・・・・・・・・・・・・ 26 ページ
- 【2】まちづくり提言書（素案）の作成について・・・・・・・・ 26 ページ
- 【3】小テーマについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27 ページ
- 【4】まちづくり提言書の作成について・・・・・・・・・・・・ 27 ページ

連絡・問合せ先	〒310-8610 水戸市中央 1 丁目 4 番 1 号 水戸市 市長公室 みとの魅力発信課 市民相談室
（電 話）	029 - 232 - 9109
（FAX）	029 - 232 - 9289
（E-mail）	monitor@city.mito.lg.jp

I. 序章

【1】はじめに

提言様式の作成は、公共政策を立案していただくことと同じになります。そのため、慣れていない方はいきなり提言様式を作成されるのは難しいかもしれません。

そこで、提言様式の作成方法に入る前に、予備知識や予行演習を記載します。なお、慣れている方は次の「II. 提言様式の作成」まで読み飛ばしていただいても差し支えありません。

【2】公共政策立案に関するよくある落とし穴について

公共政策の立案やまちづくりという言葉聞いたとき、多くの方は、「お祭り等のイベント開催」や、「公共施設等のインフラ整備」等を思い浮かべるのではないのでしょうか。

そのため、公共政策を立案しようとする、ついついイベントやインフラの内容等を詳しく考えようとしてしまいます。

一方、物事には「目的」と「手段」があります。この「目的」と「手段」は、はじめに「目的」があり次に「手段」がある、という関係になるため、まず始めに「目的」から考えていただくことになります。

ここで、この公共政策やまちづくりにおける「目的」と「手段」を考えると、皆様が暮らしたいと思う理想のまちの姿が「目的」にあたり、それを実現するための様々な取組（＝イベントやインフラ等）が「手段」にあたります。

従いまして、イベントやインフラ整備の内容を詳しく考えようとすることは、上記で言う「手段」を考えることにあたるため、「目的」が無いままに「手段」を具体化しようとすることになりかねません。

このことから、次のような落とし穴があります。

〇よくある落とし穴①

ついつい公共政策の「手段」に目が行きがちになり、「目的」を見失ってしまう。

上記のように、「手段」に目が行きがちになる結果、「目的」である理想のまちの姿については、スローガンレベルの抽象的な姿になってしまうことが度々あります。

例えば、「安心安全なまち」、「持続可能なまち」、「子どもに優しいまち」といった具合に、言葉自体は多くの方が賛同できるものであっても、その具体的な中身は聞き手によって様々なものとなるまちの姿が挙げられます。

この時、安心安全を目的にしても、人によって治安、防災、食、コミュニティ等々様々な受け取り方ができてしまいます。

これは日常生活で言うと、「体に良くておいしい料理を作る」という目的を定めた場合、その言葉から想定される料理が人によって違っているような状況にあたります。

このことから、次のような落とし穴があります。

〇よくある落とし穴②

「目的」である理想のまちの姿が抽象的となり、他の方との共通認識を得られない。

提言様式並びに本マニュアルは、この2つの落とし穴を避けるように作られています。

【3】 予行演習

この予行演習では、提言様式を簡素化したものを記載します。提言様式作成の準備体操にもなりますので、軽い気持ちで取り組んでみてください。

「前提：利益について」

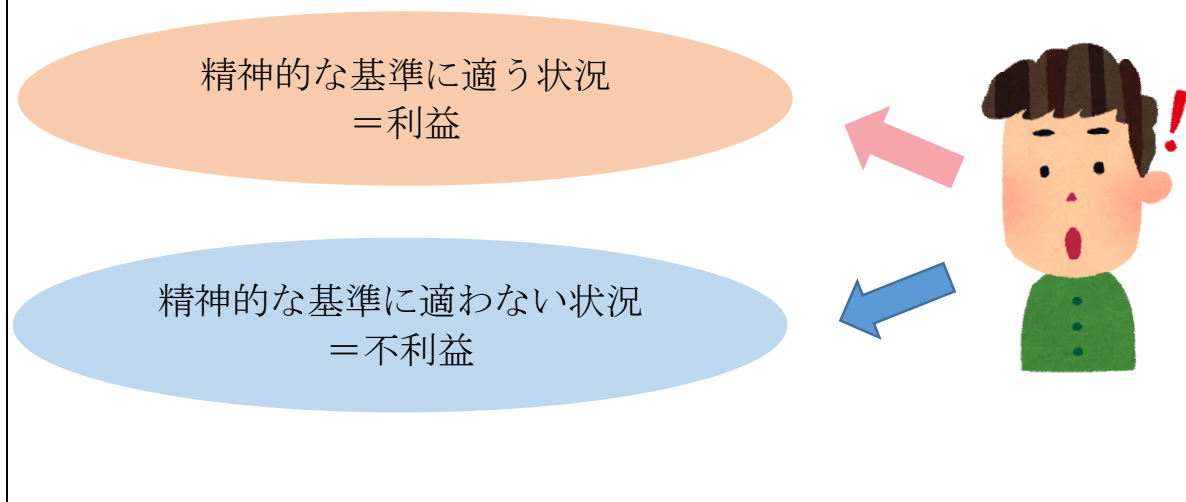
予行演習に必要な予備知識として、利益についてご説明します。

我々が普段考えている利益や不利益とは、突き詰めるとそれぞれの人の認識や価値観次第であるため、精神的な基準によるものだと考えることができます。

例えば、プレゼントを渡す時、渡す相手によってどのような物をあげるかが変わってくると思います。これは、プレゼントをもらう人によって喜ぶもの（＝利益）が変わってくる一例ですが、このように利益とは形のある実物ではなく、その人の認識や価値観の基準によって決まります。

そのため、本マニュアルにおいては、「**それぞれの人が持っている精神的な基準に合う状況が利益であり、合わない状況が不利益である**」、という前提を置きます。

なお、利益や不利益を得た時の感情を表現すると、うれしい、楽しい、悲しい、等となります。これをイメージで表すと以下のようになります。



予行演習の手順は、以下のとおりです。

「手順1」：目指す利益の基準を定める」

この手順では、目指す利益の基準を定めます。

予行演習では、移住・定住の促進以外のものでも構いません。

前述のとおり、利益とは精神的な基準によるものであるため、まず始めに何が自分にとっての利益であるかを定める必要があります。

この時、目標がぼやけてしまわないように、ある程度の絞ることに注意してください。



「手順2」：利益獲得に必要な条件を分析する」

この手順では、利益を獲得するために必要な条件を分析します。

ここで、条件とは、利益の獲得が決まった時の状況を意味します。そのため、手順1との直接的な因果関係のあるものを記入します。



「手順3」：条件を満たす上での支障を分析する」

この手順では、利益を獲得する条件を満たす上での支障を分析します。

これはいわゆる現状分析の項目になりますが、ただ漠然と現状を分析するのではなく、「条件（手順2）を満たす上で解決しなければならない支障（＝条件の成就を妨げている現状の問題）は何か？」という視点から現状を分析してください。



「手順4」：手順2と3を組み合わせる課題とする」

この手順では、手順2と3を組み合わせる課題とします。

具体的な例は後述しますが、ここでは、手順2の利益獲得の状況と、手順3の現状の支障を組み合わせることがポイントであると理解してください。

例：（手順2を達成する）ため、（手順3の支障を解消）する、など。

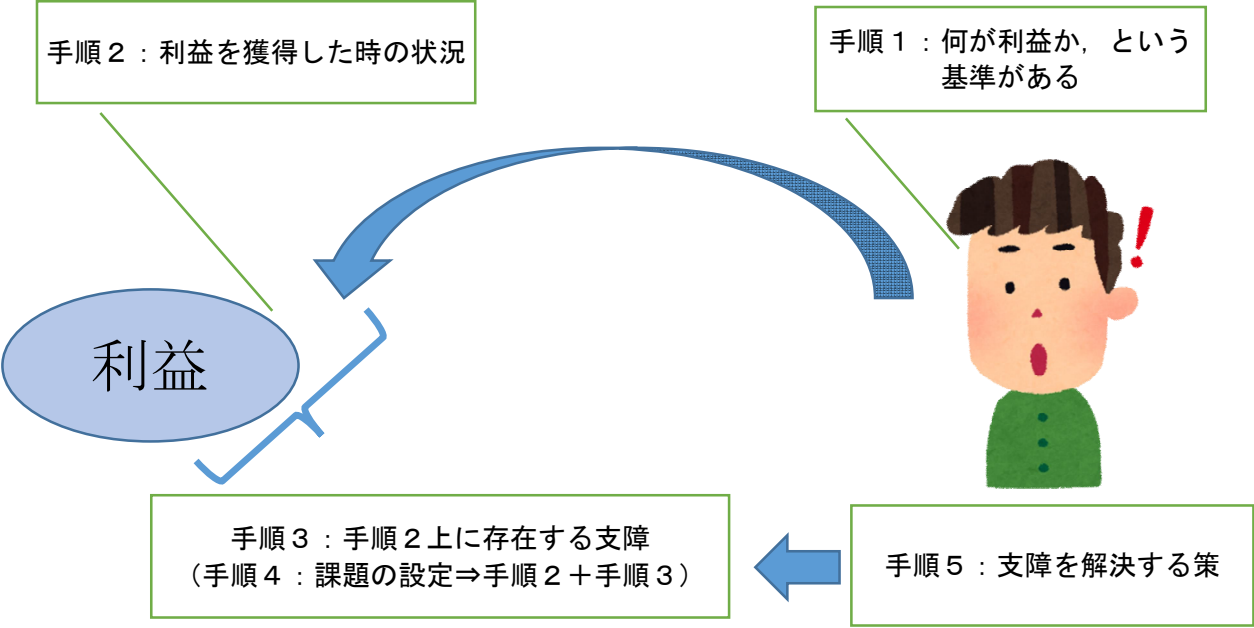


「手順5」：課題解決策を立案する」

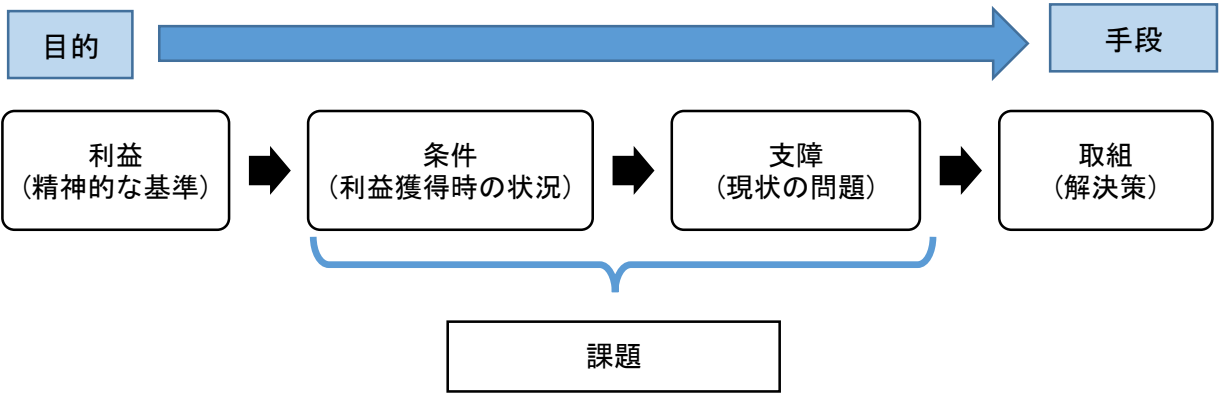
この手順では、先ほど定めた課題を解決する取組（行動）を立案します。

特に、手順3で分析した現状の支障への対策である点を意識してください。

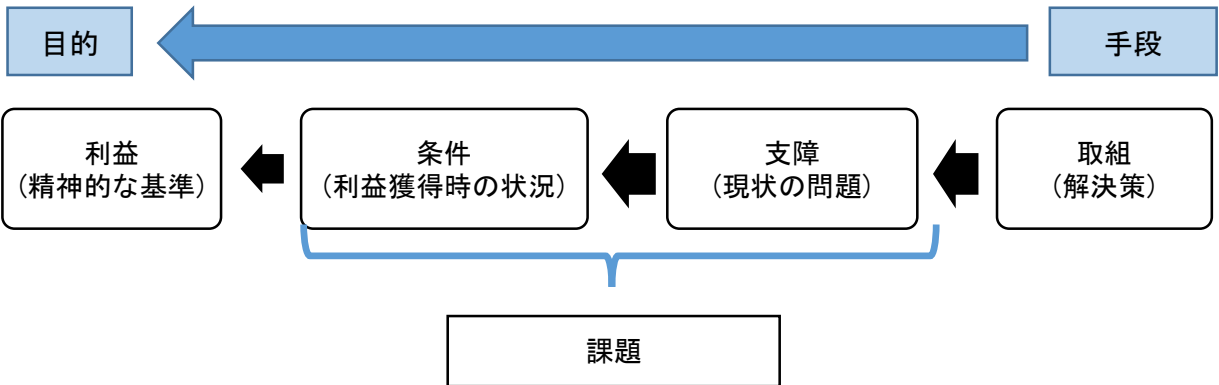
以上の手順をイメージで簡単に表すと以下ようになります。



この手順の順序は以下のようになっていますが、これは目的から手段の順に話を組み立てていることになります。



一方、取組を実施した際に生じる状況の変化の順は以下のようになっています。



このことから、何らかのプランを立案する順序と、取組を実行した際に生じる変化の順序は逆である、という重要な点が読み取れます。

つまり、立案は目的から手段の順に考えますが、状況の変化は手段から目的の順に生じる、ということになります。

ここで、この予行演習のポイントをまとめると、以下のとおりになります。

- 利益とは精神的なものであるため、何が利益かの基準を定義する必要がある。
- 課題とは理想の状況と現実の支障の組み合わせである。
- プラン立案の順序と実際の行動による変化の順序は逆である。

【各手順のイメージ】

「薄暗い部屋の中、足を痛めていて動くことが出来ない」という状況を用いて、各手順をイメージで表すと次のようになります。



手順1	目指す利益の基準を定める	部屋が明るいこと
手順2	利益獲得に必要な重要な条件を分析する	照明のスイッチを押すこと
手順3	条件を満たす上での支障を分析する	スイッチの場所まで動けない
手順4	手順2と3を組み合わせ課題とする	照明のスイッチを押すため、動けない状態を解消する
手順5	課題解決策を立案する	車いすを用意する

以下では、日常生活での場面を基に、その他の作成例を記載します。

【作成例 1】

手順 1	目指す利益の基準を定める	〇〇大学へ進学する
手順 2	利益獲得に必要な重要な条件を分析する	大学受験で合格点を取る
手順 3	条件を満たす上での支障を分析する	数学が苦手である
手順 4	手順 2 と 3 を組み合わせて課題とする	大学受験で合格点を取るため、数学を克服する
手順 5	課題解決策を立案する	1 日 3 時間数学の勉強をする

【作成例 2】

手順 1	目指す利益の基準を定める	おいしい晩御飯を食べる
手順 2	利益獲得に必要な重要な条件を分析する	おいしいレストランへ行く
手順 3	条件を満たす上での支障を分析する	レストランの情報が分からない
手順 4	手順 2 と 3 を組み合わせて課題とする	おいしいレストランへ行くため、情報不足を解消する
手順 5	課題解決策を立案する	外食情報サイトでレストランを調べる

【作成例 3】

手順 1	目指す利益の基準を定める	仕事でのプレゼンにおいて、自分の主張する内容を適切に伝える
手順 2	利益獲得に必要な重要な条件を分析する	内容に一貫性のある分かりやすいプレゼンをする
手順 3	条件を満たす上での支障を分析する	論点がまとまっていない
手順 4	手順 2 と 3 を組み合わせて課題とする	内容に一貫性のある分かりやすいプレゼンをするため、論点を整理する
手順 5	課題解決策を立案する	プレゼン内容を体系図としてまとめ、話の核心部分を確認する

Ⅱ. 提言様式の作成

【1】提言様式について

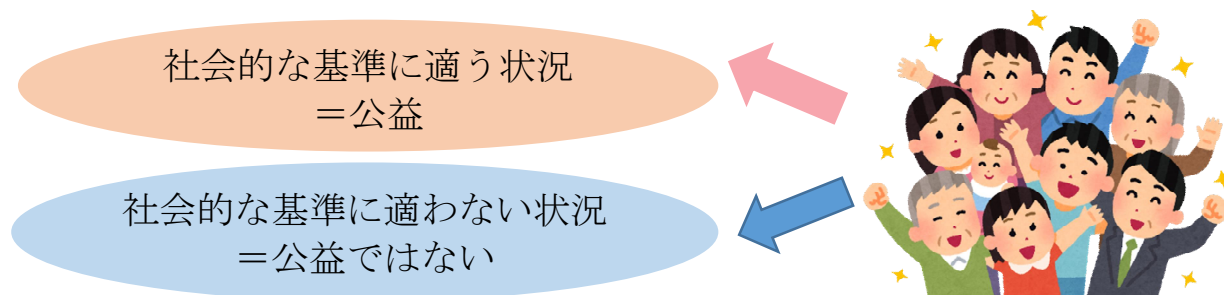
「前提：公益について」

この提言様式の作成に必要な予備知識として、「公益」について御説明します。

序章では個人の利益を扱いましたが、提言様式では公益を扱います。

個人の利益は一人一人の精神的な基準に合うものを言いますが、公益は人々の合意によって定められる社会的な基準に合うものを言います。例えば、「千波公園は自然が豊かな状況であるべきだ」と市民の皆様で合意した場合、これが社会的な基準（公益の基準）になります。

そのため、本マニュアルにおいては、「社会的な（皆で決めた）基準に合う状況が公益であり、適わない状況は公益ではない」という前提を置きます。



（参考）公益に関する事例

最近では再生可能エネルギーが話題になることが多く、これを推進することは多くの人が同意されるかと思います。

しかし、ソーラーパネルの設置のように、再生可能エネルギーを推進すると森林伐採などが生じてしまい、かえって自然環境や景観が悪化してしまうのではないかと懸念を示されている方もいらっしゃいます。

これに対して答えを見つけるためには、文字だけで結論を決めるのではなく、まちの姿を想像し、皆で話し合っていく必要があります。



経済産業省ホームページより引用



提言書作成のために使用する提言様式は以下のとおりです。

テーマ「水戸市が皆から選ばれるまちづくり」

(参考)

提言様式

予行演習 との対応		項目	内容
手順 1	⇒	ア	テーマに対して、私がつくりたい水戸市のタイトル
		イ	項目アの内容
			・まちの環境について
			・市民の活動について
手順 2～4	⇒	ウ	・まちの魅力について
手順 5	⇒	エ	項目イの中で、今回の提言でつくりたい水戸市の魅力
	⇒	オ	項目ウを実現させるために解決すべき課題
		カ	項目エを解決・改善する取組
		備考	

【2】提言様式の記入の流れについて（概要）

・項目ア：「テーマに対して、私がつくりたい水戸市のタイトル」

この項目は、まず、「皆様にとっての理想の水戸市」を自由にイメージしていただき、その水戸市の姿にタイトルを付けていただく項目になります。

例：魅力的な千波公園がある水戸市

タイトル

・項目イ：「項目アの内容」

この項目は、項目アでイメージした「皆様にとっての理想の水戸市」の内容を記入していただく項目になります。

これにより、公益の基準が定まります。

例：私が理想とする水戸市は、市内外から多くの人が集う、自然あふれる（千波）公園がある 等



・項目ウ：「項目イの中で、今回の提言でつくりたい水戸市の魅力」

この項目は、項目イに記入した「皆様にとっての理想の水戸市」の中でも、特につくりたい水戸市の魅力を、目標として記入していただく項目になります。

これにより、実現に向けたプロセスが明確になります。

例：市民が千波公園でいつでも楽しく遊べること

目標

・項目エ：「項目ウを実現させるために解決すべき課題」

項目ウが現時点で実現していないならば、実現を妨げている何らかの課題が存在することになります。

そこで、この項目は「項目ウを実現させるために解決すべき課題」を記入していただく項目になります。

例：（千波公園で）豊かな自然に触れられるようにするため、悪質な水辺環境を解消する

課題

・項目オ：「取組」

この項目は、項目エに記入した課題を解決・改善する取組を記入していただく項目になります。

取組の実施によって課題が解決された場合、皆様が希望されるまちへ一歩近づきます。

例：水質浄化装置を設置する。



【3】提言様式の各項目への記入について

提言様式には、ア～オの各項目がありますので、順番に記入してください。

以下、提言様式の各項目の記入内容について御説明いたします。

・項目ア：「テーマに対して、私がつくりたい水戸市」

この項目は、テーマに対して、皆様がどういった水戸市をつくりたいかを自由にイメージし、そのイメージできた水戸市の姿にタイトルを付け、記入する欄になります。

タイトルについては、理想とするまちの姿はどのようなものを分かりやすくするため、完成形が分かるようにしてください。

例えば、「千波公園の魅力の向上」という表現を「魅力的な千波公園がある水戸市」とすることで、理想とする姿が伝わりやすくなります。

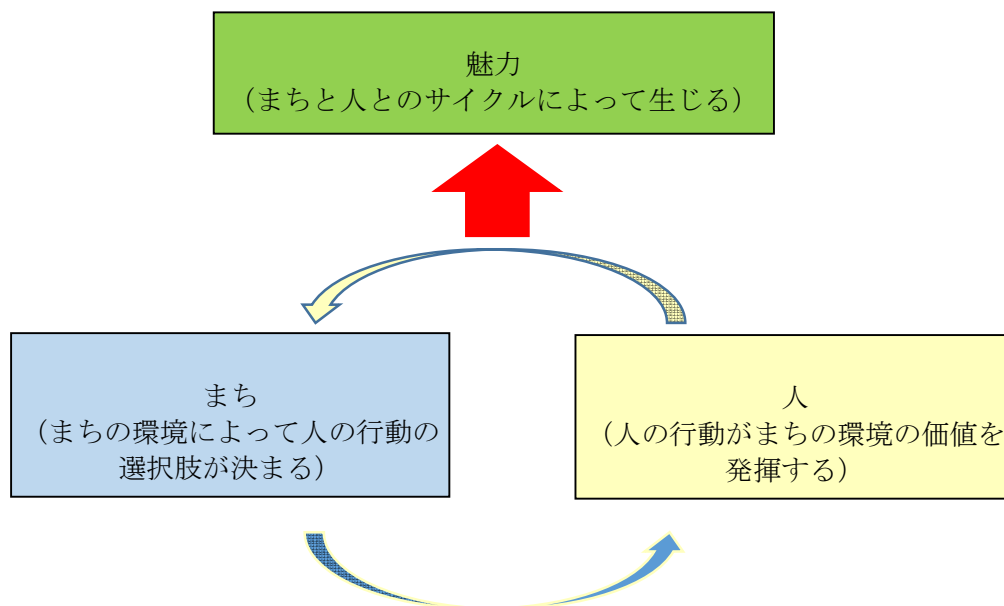
・項目イ：「項目アの内容」

この項目は、項目アでイメージした、皆様にとっての理想の水戸市の姿について、その内容を記入する欄になります。

私たちの社会全体は、「人（団体等のグループを含む）」と、人を取り囲む「まち」によって成り立っています。この時、以下の図のように、私たちの行動によってまちの機能が発揮されるとともに、まちの環境は私たちの行動の選択肢を決めるという循環構造になっています。

そして、この循環によって社会に魅力が生じる、という関係性になります。

この全体像をイメージで表すと次のようになります。



この理想のまちの姿は、事細かに全て記載するとまとめづらくなってしまうため、特定の基準で記入する必要があります。

具体的には、上記のイメージに対応するように、次の3点を中心に記入していきます。

①まちの環境について

まち（まちの環境によって人の行動の選択肢が決まる）

まちの環境とは、前のページの図の左側にある「まち」に相当します。都心で暮らす場合と山の中で暮らす場合とでは出来ることが全く異なるように、まちの環境によって私たちが出来ることが変わってきます。

そこで、理想のまちはこういった環境になっているのかを記入します。

なお、ここでは利益のような価値的（精神的）な視点ではなく、実物的な視点から記入します。

●まちの環境の例

自然、野生動物、人工物、歴史、無形文化財、制度・慣習 など

②市民の活動について

人（人の行動がまちの環境の価値を発揮する）

市民の活動とは、前のページの図の右側にある「人」に相当します。まちの環境は、私たちの活動から大きく影響を受けています。

そこで、上記のまちの環境の中で、私たちがどのような活動を行っているのかを記入します。

なお、まちの環境と同様に、利益のような価値的（精神的）な視点ではなく、実体的な視点から記入します。また、市民の活動には団体等のグループの活動や活動と一体となる活動理念もここに含まれます。

●市民の活動の例

学習等の知識を深める活動、ボランティア等のそれぞれの価値観や理念に基づく活動、スポーツ等の身体能力が重要な活動、経済的な活動 など

③まちの魅力について

魅力（まちと人とのサイクルによって生じる）

以上に述べた「まちの環境」と「市民の活動」に記入した内容が公益の基準になります。ここでは、この公益の基準が満たされた時、どのような魅力がまちに生じているかを価値的（感情的）な視点から記入します。

●まちの魅力の例

偕楽園・千波公園は、動植物を含めた自然への愛着や郷土愛を育む他、人々に活気をもたらすなど、水戸市を代表するパワースポットとなっています。

ここでは自然、人工物、人々の交流などが高い水準で有機的に連携・統合されているため、美しく楽しいまちの姿が実現しています。

そのため、水戸市民は誰でもこの場所で日々のストレスを解消するとともに、明日へのエネルギーを育むことができています。

なお、この項目は皆様に考えていただく最上位の目的であるため、基本的にどのような公共政策（手段）が実施されているかは記入しません。例外として、伝統的な地域行事等、行事自体が目指すまちの姿（目的）となっているものであれば記入します。また、この項目のイメージを伝えるために、絵や写真等も掲載すること考えられます。

また、項目イを記入することが難しい場合には、箇条書きでも構いません。

・項目ウ：「項目イの中で、今回の提言でつくりたい水戸市の魅力」

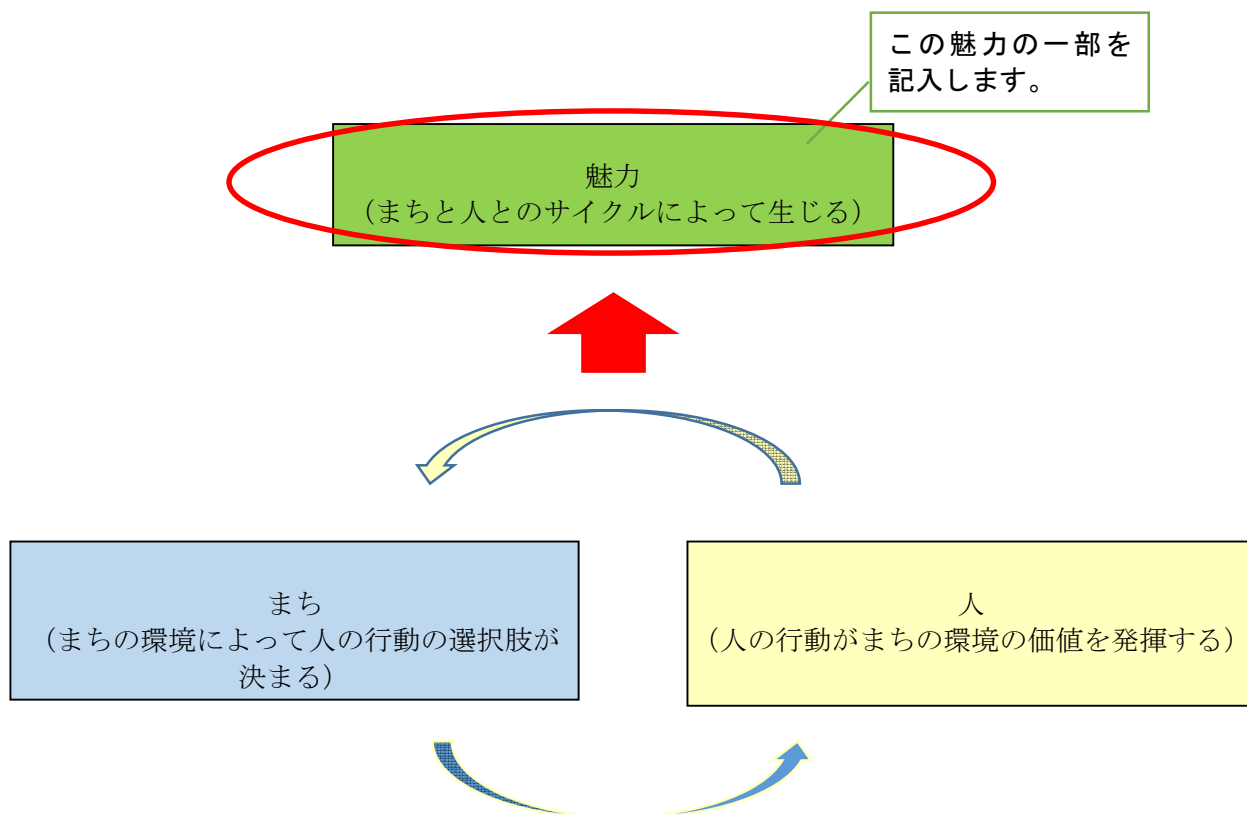
この項目は、項目イで挙げた理想のまちの姿の中に存在する魅力の中から、実現を目指す魅力を選び、記入する欄になります。

記入にあたっては、この後の展開に繋がりをよくするために、「誰が」「どのような感情を抱いているか」が分かるように記入し、ある程度の絞ってください。

●項目ウの例

スポーツ好きの人が楽しめるまち、学生がまちで学習して充実感を得ること、市民が千波公園の自然で安らげること、子育て世帯が安心できること など

項目ウのイメージ



・項目エ：「項目ウを実現させるために解決すべき課題」

項目ウで挙げたことは、現在は実現していないこととなるため、実現を妨げている何らかの支障が存在することになります。

そこで、この項目では「何を解決すれば狙い（＝項目ウ）が実現するのか」を明確にします。

この時、もしも設定した課題を解決しても項目ウが実現しなければ、課題の設定に失敗したこととなってしまいます。

この失敗を避けるために、次の１～３の手順によって課題を設定し、項目ウとの関係を明確にします。

○課題作成の手順

課題手順１：「項目ウの実現に必要な重要な条件」を見つける

課題手順２：「手順１の条件を成就させる上で特に支障になっていること」を見つける

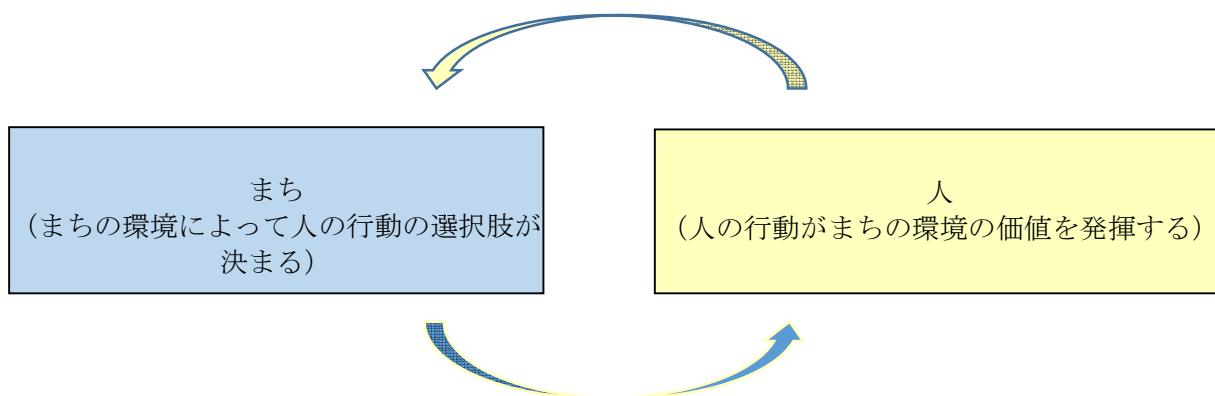
課題手順３：手順１と手順２を組み合わせ、課題を設定する

なお、この課題手順１及び２に記入することは複数考えられる場合がありますが、その場合にはその数に応じて複数の課題をつくることになります。

それぞれの手順の詳細は次の通りです。

課題手順１：「項目ウの実現に必要な重要な条件」について

「項目ウの実現に必要な条件」とは、魅力が生じる状況、と言い換えることができます。この課題手順１を設定するには、項目イで使用した人とまちの循環のイメージを用います。



項目イでは、このサイクルとはどういう状況であり、それによってどのような魅力が生じているのかを記入し、項目ウではその中から特定の魅力に的を絞りました。

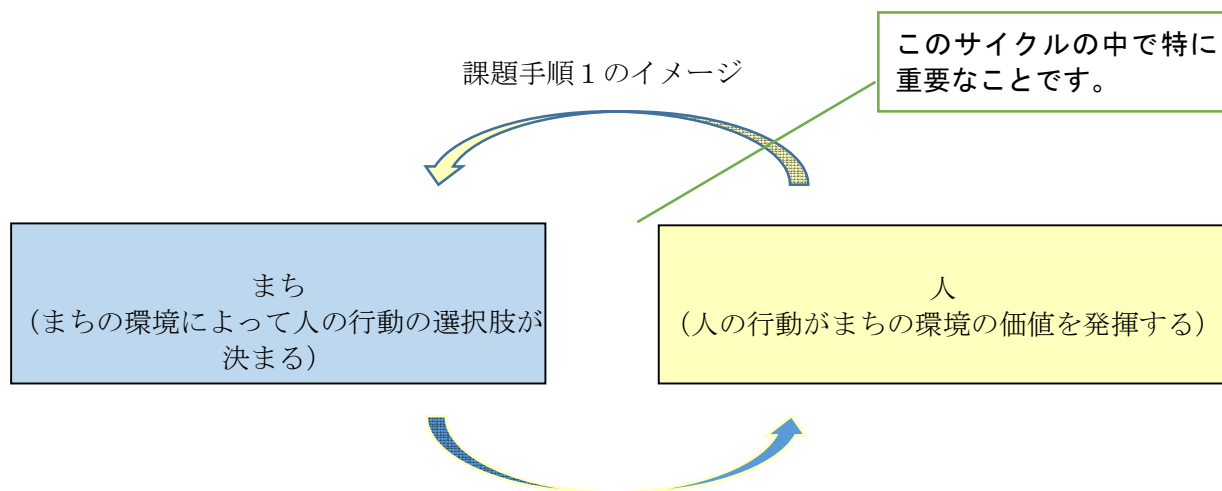
この課題手順１では、項目ウの実現に必要な重要な条件を記入します。これは、項目イで描いた世界観（上の図のサイクル）において項目ウの魅力が生じている重要な状況を分析し、記入することになります。分析にあたっては、実現したい魅力は、こういったまちの環境において、こういった人の活動によって生じるのか、ということを意識しながら分析します。

ここでは、課題設定の目的は、「何を解決すれば狙い（項目ウ）が実現するのか」を明確にすることにあることを踏まえ、重要な条件に的を絞って、可能な限りシンプルに表現することが好ましくなります。

例えば、項目ウで「(千波公園で) いつでも楽しく遊べること」を魅力とした場合には次のように考えることができます。

魅力（項目ウ）	条件の候補
市民が千波公園でいつでも楽しく遊べること	1. 豊かな自然に触れられること
	2. 遊具が充実していること
	3. (金銭面等の) 負担が低いこと
	4. アクセスしやすいこと

この場合には、上の4つの条件の候補の中から、皆様にとっての**重要な条件**とは何かを検討し、決定します。



課題手順2：「手順1の条件を成就させる上で特に支障になっていること」について

課題手順2は、手順1の条件を成就させる上で特に支障になっていることを記入します。

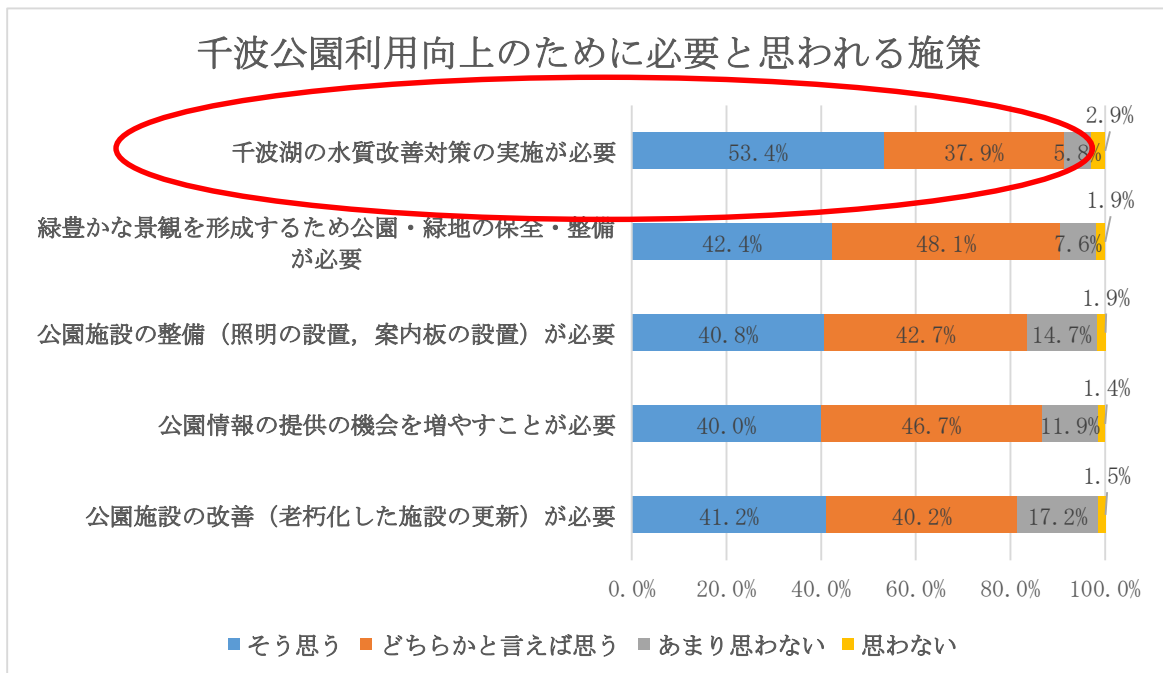
特に支障になっていることを見つけるためには、現状分析を行います。しかし、実際の社会は非常に複雑で様々な要素が存在しているため、漠然と現状を分析してしまうと、そもそも何を分析して何を見つけようとしていたのかも分からなくなってしまうことがあります。そのため、「課題手順1の条件を成就させる上で、特に支障になっていることは何か」、という視点から分析を行ってください。

現状分析をした結果、もしも特に支障になっていることが見当たらなかった場合には、課題手順1の条件が満たされているため、課題を設定する必要がなくなります。

前述のとおり、設定した課題が解決されても項目ウが実現されないならば、課題の設定に失敗したことになってしまうため、データ等を活用して現実に即したものにすることが重要になります。

(参考) 課題手順1・2と、活用するデータの例

課題手順1	課題手順2	活用するデータ
(千波公園で) 豊かな自然に触れられること	水辺環境が悪化していること	・水質検査の結果 ・千波公園の景観に関する市民へのアンケート調査の結果 等



※上記のデータから、市民の9割程度が千波湖の水質改善が必要と回答しているため、対策が必要と考えられる。

(出典)

水戸市偕楽園公園（千波公園等）整備基本計画

<https://www.city.mito.lg.jp/page/4397.html>

課題手順3：「課題の設定」について

課題手順3は、課題手順2で挙げた問題について、それへの対策を講じる旨の言葉に変換した上で課題手順1と組み合わせ、課題を設定します。

課題を設定する際には、「〇〇〇（手順1）を達成するため、△△△（手順2）を解消する」というようにしてください。これは基本構文ですので、適宜文脈上の修正を加えていただいてもかまいません。

このように一文でまとめることによって「何をすればいいのか」を明確にすることができるため、極力一文になるようにまとめます。

そして、適宜課題に備考を設け、その課題の背景やデータ等を説明してください。

以上の手順にあたっては、以下のように表を用いると考えやすくなります。

・項目工の作成表（作成例1）

項目ウ		市民が千波公園でいつでも楽しく遊べること
課題手順1	「項目ウの実現に必要な重要な条件」を見つける	豊かな自然に触れられること
課題手順2	「手順1の条件を成就させる上で特に支障になっていること」を見つける	水辺環境が悪化していること
課題手順3	手順1と手順2を組み合わせ、課題を設定する	豊かな自然に触れられるようにするため、悪質な水辺環境を解消する

・項目工の作成表（作成例2）

項目ウ		子育ての負担が少ないこと
課題手順1	「項目ウの実現に必要な重要な条件」を見つける	子どもが利用するサービスへの金銭負担が少ないこと
課題手順2	「手順1の条件を成就させる上で特に支障になっていること」を見つける	子どもの医療費の負担
課題手順3	手順1と手順2を組み合わせ、課題を設定する	子どもが利用するサービスへの支出が少ない環境をつくるため、過度な医療費負担を解消する

(参考)「オッカムのカミソリ」

オッカムのカミソリとは、「ある事柄を説明するためには、必要以上に多くを仮定するべきでない」とする指針です。

これはスコラ哲学由来の言葉で、14 世紀の哲学者・神学者であるオッカム村のウィリアムが多用したことで有名になったと言われています。



オッカム村のウィリアム

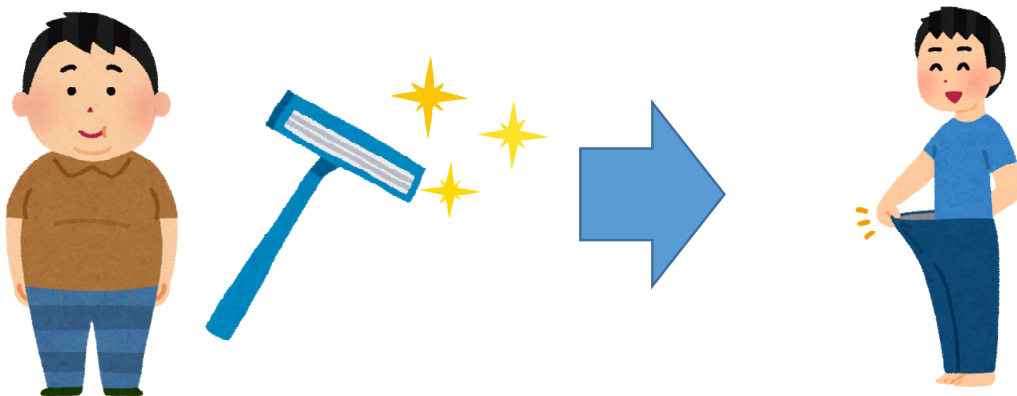
この言葉は課題を分析するにあたって非常に参考になります。

課題では、「項目ウを実現するには課題手順 1 という条件が必要」、「課題手順 1 という条件を満たすためには課題手順 2 という問題を解消しなければいけない」という順に展開していきます。

この時、考えれば考えるほど、「項目ウを実現するには課題手順 1 として A, B, C・・・という条件が必要だし、課題手順 1 の条件を満たすには A', B', C'・・・という問題を解決しなければいけない」というように、いろいろな考えが浮かんできます。

ですが、大事なのは項目ウの実現であったり課題手順 1 の条件を満たすことなので、言い換えれば、「もし A という条件が満たされれば項目ウが実現する」というものであれば、B, C という条件は不要になります。同様に、「もし A' という問題が解消されれば課題手順 1 の条件が満たされる」というものであれば、B', C' という問題への対処は（ロジック上は）不要となります。

このように、課題を分析する際にはオッカムのカミソリの言葉に従い、上位の目的を達成する上で必要最小限のものとする事で、資源を効果的に投入できる課題が定まり、効果的な政策を立案することができるようになります。



・項目オ：「取組」

この項目は、項目エで挙げた課題を解決するための取組を記入する欄になります。

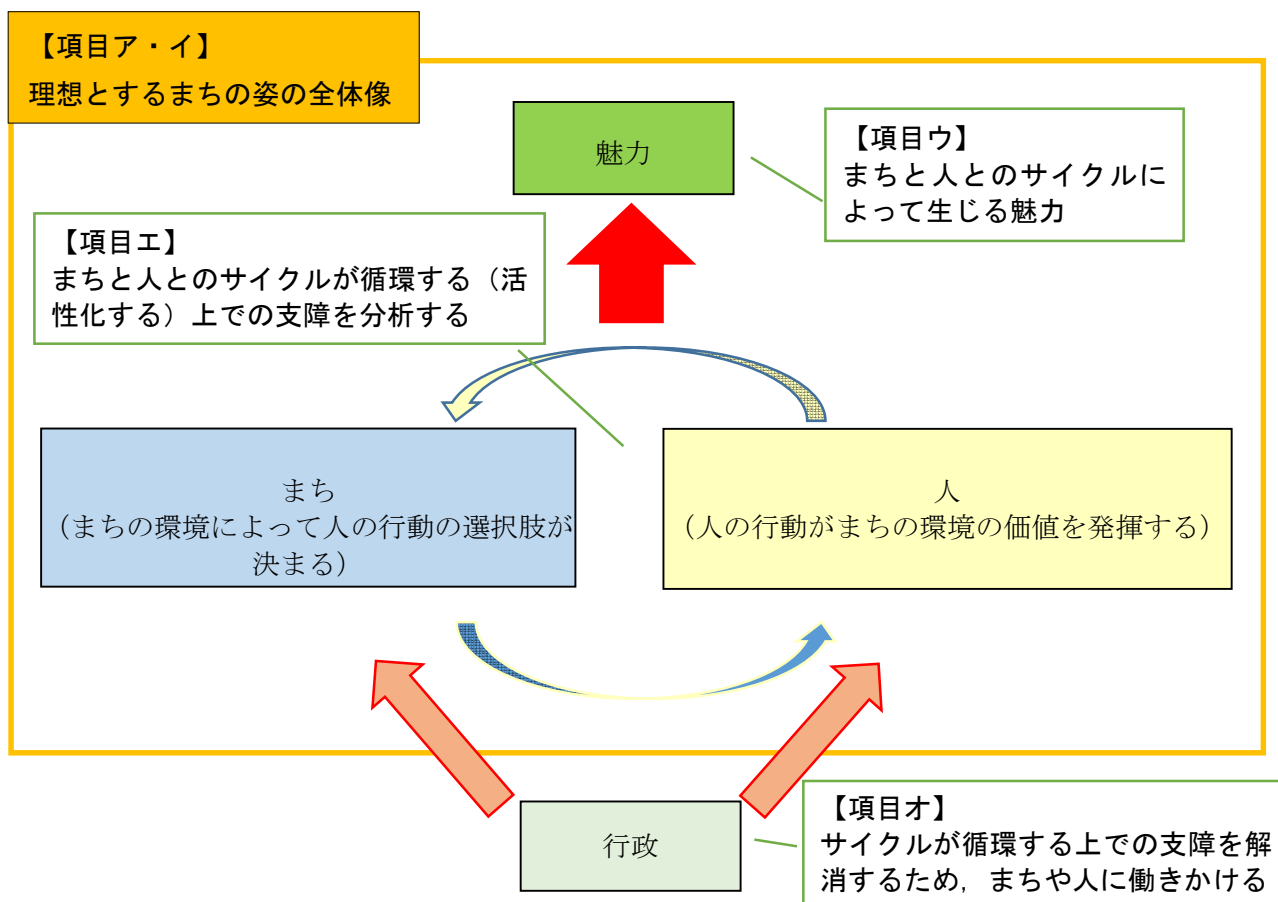
記入にあたっては、課題（特に課題手順2）への対応関係を意識しながら記入してください。

なお、これは水戸市政への提言であるため、取組の実施主体については水戸市（行政）とします。そのため、民間企業等が関係する取組としたい場合には、水戸市が民間企業等とどのような形で関わるべきかについて記入してください。

記入例

項目ウ「項目イの中で、今回の提言でつくりたい水戸市の魅力」	項目エ「項目ウを実現させるために解決すべき課題」	項目オ「取組」
市民が千波公園でいつでも楽しく遊べること	豊かな自然に触れられるようにするため、悪質な水辺環境を解消する	・アオコの発生を抑制するジェットストリーマーを設置する
運動する人がジョギングを楽しめること	安全に走れる環境にするため、ジョギングコースの凹凸を解消する	・〇〇前のジョギングコースをなだらかにする整備を行う
子育て世帯が安心できること	子どもが利用するサービスへの支出が少ない環境にするため、過度な医療費負担を解消する	・△△にかかる医療費への補助金制度をつくる

（参考）以上に述べた提言様式の各項目を、図で表すと以下のようになります。



前のページの図のように、行政は最終的にまちや人に働きかけます。そのため、以下のように、まちの環境や市民の活動を構成する要素に働きかけることを念頭に取組（項目才）を考えることで、より具体化することができます。

○まちの環境を構成する要素

自然、野生動物、人工物、歴史、無形文化財、制度・慣習 など

○市民の活動を構成する要素

状況判断能力、各々の価値基準、身体活動、経済力 など

・備考欄について

この項目は、提言様式作成にあたり、使用した統計的データや参考とした他市事例等を記入してください。



水戸市マスコットキャラクター「みとちゃん」のプロフィール

性別	女の子
誕生日	3月10日
性格	好奇心旺盛で色々な場所にお出かけすると、遊びに来てくれたお友達をおもてなしするのが大好き
好きな食べ物	納豆、森のシェパード館のレアチーズタルト、水戸藩らーめん、梅干
好きなこと	偕楽園でのお昼寝、お出かけ（黄門様に憧れていずれは全国行脚したいと思っている）

(参考)「補完性の原理」

補完性の原理とは、個人でできることは個人で、個人でできないことは団体で、団体でできないことは市町村で、市町村でできないことは都道府県で、都道府県でできないことは国が行う、という役割分担を指します。

このようにそれぞれの持ち分を明確にすることで、それぞれの立場からそれぞれの役割に特化することで全体として無駄（ムラ）がなくなり、強力に社会を良くしていくことができます。

この言葉は、取組を考える上で非常になります。取り組みでは、それは行政で実施するべきか、それとも市民で実施するべきか、という点を考えることが重要になりますが、これを考える上で補完性の原理が重要になります。

これはお金で考えると分かりやすくなります。

例えば、水戸市では毎年ゴミ処理に32億円程度のお金がかかっています。この内、8億円程度をゴミ袋の売り上げから費用を負担しているため、税金の負担は残りの24億円程度となっています。

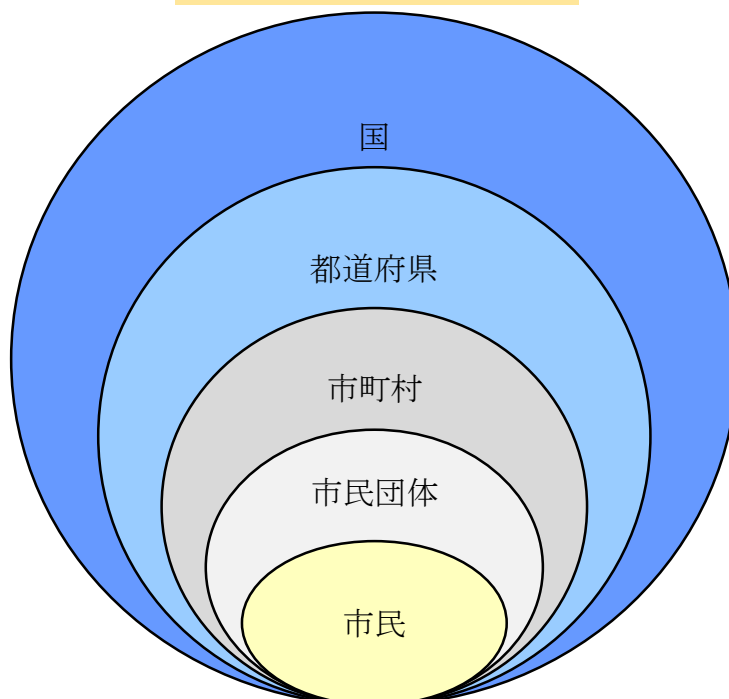
この時、仮にゴミ袋の値段を4倍にして、ゴミ処理の費用を全てゴミ袋の売り上げで負担したとしたら、毎年24億円の予算が自由に使えることになり、このお金を8年間貯めれば市民会館を建設できます。

これを全体として眺めると、ゴミ袋の値段は今のままだけど市民会館が出来ないか、8年間ゴミ袋の値段が4倍になるけれど市民会館ができるか、という選択があることになります。

そしてこれを補完性の原理の視点で見ると、もしも市民が4倍のゴミ袋の値段を負担することができたとしたら、ゴミ処理費用の負担という市民に出来ることは市民が行い、市民会館の建設と言う行政にしかできないことを行政が行うことで、強力にまちづくりを進めていくことができます。

※もちろん、上記はあくまで補完性の原理を説明するための題材であり、実際に更に新しい市民会館を建設するためにゴミ袋の値段を4倍にすることを検討しているわけではありません。

補完性の原理のイメージ

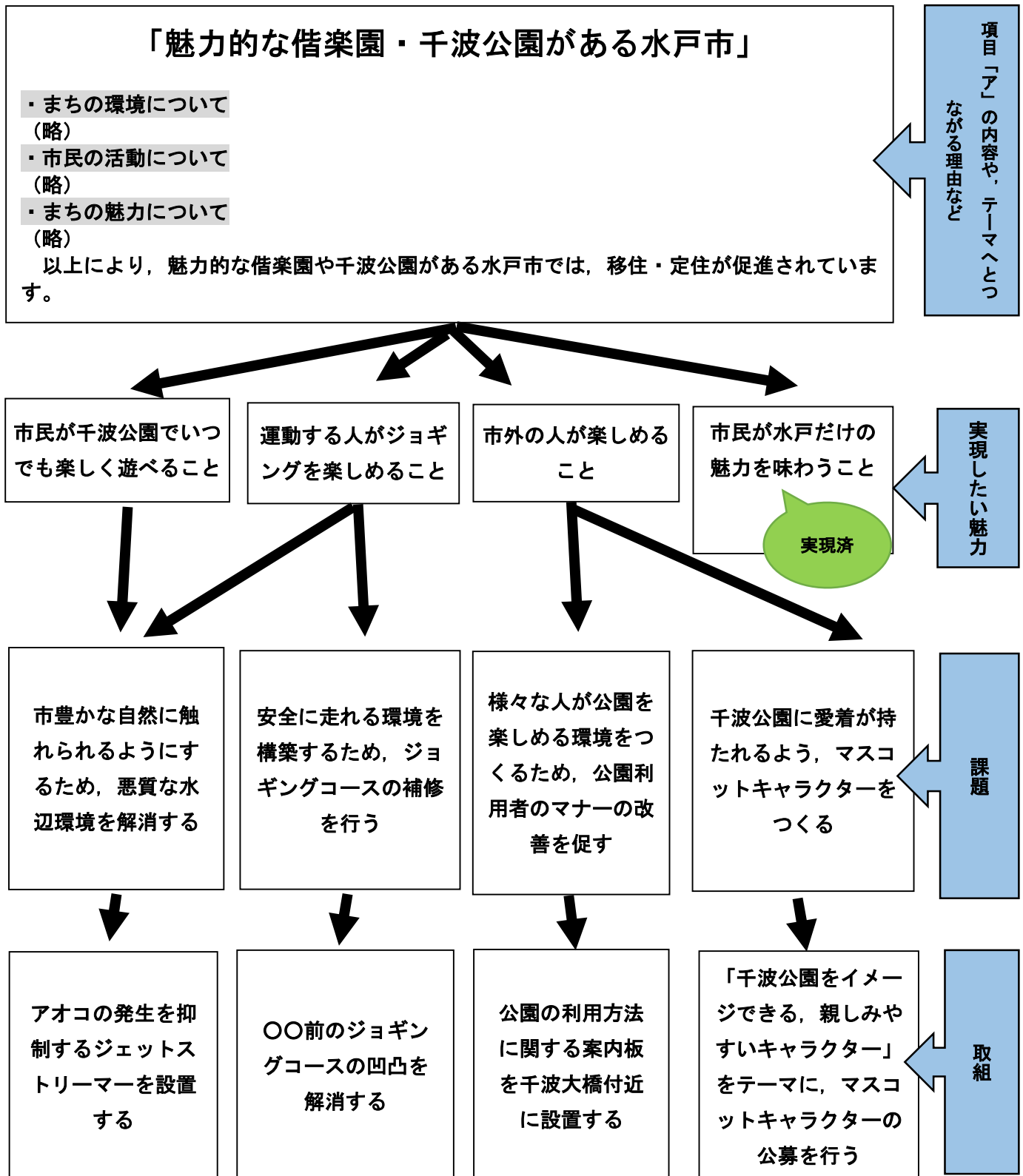


【4】提言様式の各項目の関連について

提言様式の項目ウ～オについて、それぞれ複数のことを挙げていただく場合には、階層構造で表すと全体像を分かりやすく整理できます。

前ページまでの内容も踏まえ、「魅力的な千波公園がある水戸市」を題材に提言様式の各項目を階層構造にして表すと、以下のようになります。

テーマ「水戸市が皆から選ばれるまちづくり」



テーマ「水戸市が皆から選ばれるまちづくり」

項目	内容
ア	テーマに対して、私がつくりたい水戸市のタイトル
	魅力的な偕楽園・千波公園がある水戸市
イ	項目アの内容
	・まちの環境について 私にとって理想の偕楽園から千波公園にかけての自然は、梅・桜・綺麗な水面等があり、虫をはじめとした多様な生態系が構築されているため、豊かな自然に触れることができます。 また、偕楽園では観梅等を、千波湖ではジョギング等を行うための周遊コースが整備されています。千波湖の周辺に目を向けると、中心市街地や日本三名園の偕楽園等が有機的に連携していますが、これは江戸時代に千波湖が水戸城の堀としての役割を持っていたことや、偕楽園の場所を決めた理由等のように、水戸における重要な拠点となっていた歴史的背景に基づきます。そのため、歴史的背景等の共通のテーマをコンセプトとした歩道が各地で整備されている等、エリア全体が一体的な空間となるように街並みが工夫されています。 この偕楽園・千波公園では、偕楽園の名の由来に基づき、多くの人を楽しめるように、経済面への配慮やイベントを開催しやすい仕組みづくり等が実施されています。
	・市民の活動について 水戸市民はこの偕楽園や千波公園において、観梅、ジョギングなどの運動、一年を通して開催される様々なイベントへの参加、生態系や良好な景観の保全活動などの多様な活動を行っています。また、中心市街地を始めとした近接するエリアへも訪れる等、偕楽園・千波公園を拠点として多くの人の動きが生じています。 この偕楽園・千波公園においては、お金を持たない子どもでも飲食、各種イベント、スワンボート等を利用することができています。
	・まちの魅力について こうした偕楽園・千波公園は、動植物を含めた自然への愛着や郷土愛を育む他、人々に活気をもたらすなど、水戸市を代表するパワースポットとなっています。 ここでは自然、人工物、人々の交流などが高い水準で有機的に連携・統合されているため、美しく楽しいまちの姿が実現しています。 そのため、水戸市民は誰でもこの場所で日々のストレスを解消するとともに、明日へのエネルギーを育むことができます。
ウ	項目イの中で、今回の提言でつくりたい水戸市の魅力
	市民が千波公園でいつでも楽しく遊べること

	項目ウを実現させるために解決すべき課題 豊かな自然に触れられるようにするため、悪質な水辺環境を解消する。 千波公園利用向上のために必要と思われる施策 <table><thead><tr><th>施策</th><th>そう思う</th><th>どちらかと言えば思う</th><th>あまり思わない</th><th>思わない</th></tr></thead><tbody><tr><td>千波湖の水質改善対策の実施が必要</td><td>53.4%</td><td>37.9%</td><td>5.8%</td><td>2.9%</td></tr><tr><td>緑豊かな景観を形成するため公園・緑地の保全・整備が必要</td><td>42.4%</td><td>48.1%</td><td>7.6%</td><td>1.9%</td></tr><tr><td>公園施設の整備（照明の設置、案内板の設置）が必要</td><td>40.8%</td><td>42.7%</td><td>14.7%</td><td>1.9%</td></tr><tr><td>公園情報の提供の機会を増やすことが必要</td><td>40.0%</td><td>46.7%</td><td>11.9%</td><td>1.4%</td></tr><tr><td>公園施設の改善（老朽化した施設の更新）が必要</td><td>41.2%</td><td>40.2%</td><td>17.2%</td><td>1.5%</td></tr></tbody></table> ※上記のデータから、市民の9割程度が千波湖の水質改善が必要と回答しているため、対策が必要と考えられる。	施策	そう思う	どちらかと言えば思う	あまり思わない	思わない	千波湖の水質改善対策の実施が必要	53.4%	37.9%	5.8%	2.9%	緑豊かな景観を形成するため公園・緑地の保全・整備が必要	42.4%	48.1%	7.6%	1.9%	公園施設の整備（照明の設置、案内板の設置）が必要	40.8%	42.7%	14.7%	1.9%	公園情報の提供の機会を増やすことが必要	40.0%	46.7%	11.9%	1.4%	公園施設の改善（老朽化した施設の更新）が必要	41.2%	40.2%	17.2%	1.5%
施策	そう思う	どちらかと言えば思う	あまり思わない	思わない																											
千波湖の水質改善対策の実施が必要	53.4%	37.9%	5.8%	2.9%																											
緑豊かな景観を形成するため公園・緑地の保全・整備が必要	42.4%	48.1%	7.6%	1.9%																											
公園施設の整備（照明の設置、案内板の設置）が必要	40.8%	42.7%	14.7%	1.9%																											
公園情報の提供の機会を増やすことが必要	40.0%	46.7%	11.9%	1.4%																											
公園施設の改善（老朽化した施設の更新）が必要	41.2%	40.2%	17.2%	1.5%																											
エ	項目エを解決・改善する取組 ・アオコ（※1）の発生を抑制するジェットストリーマー（流動促進装置）を設置する。 ・市民団体のビオトープ（※2）形成活動を支援する。なお、支援内容は〇〇に注力する。																														
	備考 （出典） 水戸市偕楽園公園（千波公園等）整備基本計画 https://www.city.mito.lg.jp/page/4397.html																														

※１：水の滞留等が原因で水中の植物プランクトンが大量に増殖し、水面が緑色の粉をまいたようになる現象のこと。

※2：水生植物等が植栽され、野生動植物等が生息できる生物空間のこと。



テーマ「水戸市が皆から選ばれるまちづくり」

項目	内容
ア	テーマに対して、私がつくりたい水戸市のタイトル
	安心して子どもを生み、育てられる水戸市
イ	項目アの内容
	・まちの環境について 私が理想とする水戸市では、子どもが自然に親しみながら育ちやすいように、公園をはじめとして、適切に自然が管理された環境があります。 また、子育て施設や病院等の医療機関が量・質共に充実しており、施設利用にあたっての移動などの負担が少なくなっています。 このまちでは、子育て支援に関するネットワークが構築され、社会全体で子どもを支える仕組みが出来ています。 これらのことから、水戸市では 1.8 以上の合計特殊出生率（国が掲げる希望出生率※）が実現しています。 ・市民の活動について このまちの子どもは、公園などで全力で飛んだり走ったりするなど、頭から指先までの全身を使った遊びをすることができています。 このまちの保護者は、たとえ近くに親族のいない共働き世帯であっても、様々な社会資源（子育て施設や医療機関、子育て支援制度等）を活用することで、身体面への負担が非常に少ない子育てを行えています。 また、水戸市民は、子どもは将来に向けたまちの宝であるという認識のもと、互いに助け合う精神を持って他者の子どもを手助けするとともに、保護者は自分の子どもが将来他者を助けられる人物となれるように公共的精神を教育しています。 ・まちの魅力について 私が理想とする水戸市は、自然も含めたまち全体で子どもを生み育てることができるため、この水戸市で育った子どもは心身ともに豊かでたくましく、公共精神にあふれ他者を助け、周りをリードできる人物へと成長できます。 このまちで暮らす保護者は、将来への夢や希望を持って子育てができるとともに、子供は安心して伸び伸びと成長することができるため、笑顔にあふれ快適に暮らせるまちとなっています。
ウ	項目イの中で、今回の提言でつくりたい水戸市の魅力
	子育て世帯が安心できること

エ	項目ウを実現させるために解決すべき課題
	子育てに必要な社会資源を活用できるようにするため、過度な医療費負担を解消する。
オ	項目エを解決・改善する取組
	△△にかかる医療費への補助金制度をつくる。
	備考

※若い世代における結婚，妊娠・出産，子育ての希望がかなうとした場合に想定される出生率。



みとちゃん



わんぱーく・みとの様子

Ⅲ. まちづくり提言書の作成

【1】まちづくり提言書について

まちづくり提言書とは、市政モニターの皆様から提出された、それぞれの提言様式の内容等を一つにまとめたものです。

【2】まちづくり提言書（素案）について

市政モニターの皆様が提出した提言様式の内容等を基に、市民相談室がまちづくり提言書（素案）を作成します。

まちづくり提言書は

第1部「私達が理想とするまちの姿」と、

第2部「理想のまちを実現するための課題と取組」

に分かれ、提言様式の各項目ごとにそれぞれ第1部または第2部に転記します。

なお、提言様式の各項目は、まちづくり提言書に以下のとおり反映されます。

提言様式の各項目	
ア	テーマに対して、 私がつくりたい水戸市
イ	項目アの内容
ウ	項目イの中で、今回の提言でつくり たい水戸市の魅力
エ	項目ウを実現させるために 解決すべき課題
オ	課題解決の取組



第1部	第2部
○	○
○	△
×	○
×	○
×	○

○：そのまま転記します。

△：要旨を転記します。

×：転記されません。

【3】小テーマについて

まちづくり提言書については、3つの小テーマを設定します。

皆様が作成された提言様式を、その内容に応じて市民相談室が以下のように分類します。

	小テーマ名（仮称）	該当するもの
小テーマ1	豊かさと安らぎのあるまち	特段水戸市特有の地域資源を活用せず、他の市町村でも行えるまちづくり
小テーマ2	水戸ならではのまち	水戸市特有の地域資源を活用する、水戸市だけが行えるまちづくり
小テーマ3	日本で輝く水戸	水戸市の範囲を越え、他の小テーマには該当しづらいまちづくり

【4】まちづくり提言書の作成について

市民相談室が作成するまちづくり提言書（素案）に基づき、市政モニターの皆様とまちづくり提言書を完成させます。

小テーマごとにグループを作りますので、市政モニターの皆様はいずれかの小テーマのグループに所属し、小テーマごとにまちづくり提言書を作成してください。

各小テーマのグループにおいては、主に以下のものを行います。

主に行うこと

- ・各小テーマの名称の決定 ⇒ 下記①参照
- ・提言書の各項目の修正等 ⇒ 次ページ②参照

①各小テーマの名称の決定

	小テーマ名（仮称）	該当するもの
小テーマ1	豊かさと安らぎのあるまち	特段水戸市特有の地域資源を活用せず、他の市町村でも行えるまちづくり
小テーマ2	水戸ならではのまち	水戸市特有の地域資源を活用する、水戸市だけが行えるまちづくり
小テーマ3	日本で輝く水戸	水戸市の範囲を越え、他の小テーマには該当しづらいまちづくり

所属する小テーマの名称を決定します。
それぞれの小テーマのまちの姿に名前を付けてください。

②各項目の修正等（提言書第2部のイメージ）

【提言1】「〇〇〇〇〇」

【この提言が理想とするまちの姿（要旨）】

- ・（理想とするまちの姿における，まちの環境に関する要旨）
- ・（理想とするまちの姿における，市民の活動に関する要旨）
- ・（理想とするまちの姿における，まちの魅力に関する要旨）

【課題】

~~~~~

~~~~~

~~~~~

**【課題解決への取組】**

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

このまちの魅力の一つは「~~~~~」であり，ここではこれを目標とします。  
この目標達成への課題は次のとおりです。

**【課題】**

~~~~~

~~~~~

~~~~~

D：提言様式の項目エ

【課題解決への取組】

~~~~~

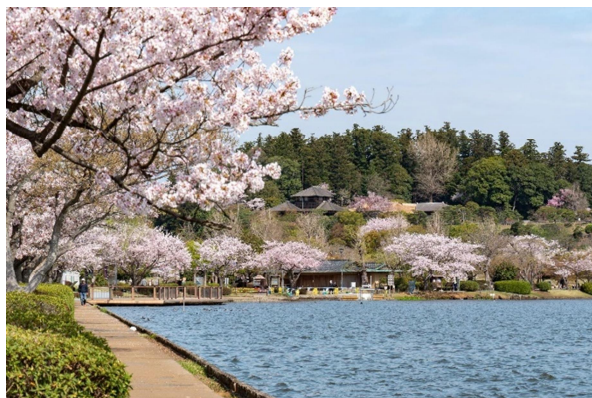
~~~~~

~~~~~

~~~~~

E：提言様式の項目オ

※いただいた提言様式を基に，市民相談室が提言書に転記しますので，御確認の上加除修正をお願いします。



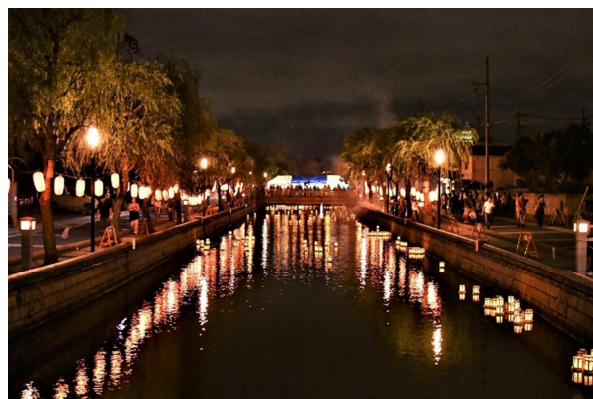
千波湖から見た偕楽園



水戸黄門まつりの様子



水戸市の中心市街地の様子



備前堀灯籠流しの様子